

室小路地域

幸せづくり活動プラン

～明るく・楽しく・便利・安全～



室小路の夏祭り・なでしこ保育園友情参加

目指す!
地域の姿

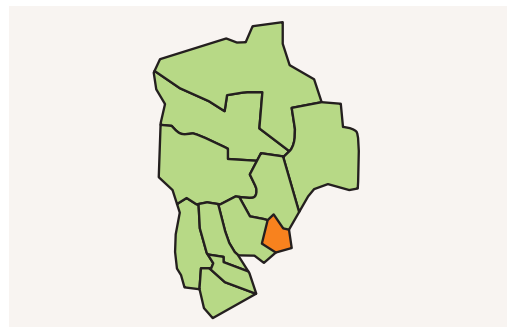
ささえあう 心はひとつ 室小路

▶ 私たちの地域(地域の概要)

私たちの地域は、平成4年頃からの区画整理事業にともない整備された住宅街と秋には鮭が遡上する諸葛川をはじめとした豊かな自然環境が共存している地域です。

また「室小路遺跡群」が縄文から平安時代頃まで広がり歴史の深い地域でもあります。

地域では子どもから高齢者まで幅広い世代で活動に取り組み、安全安心なまちづくりを目指しています。



● 室小路地域づくり懇談会(室小路自治会)
【計画期間:平成27年度～平成34年度】

1

地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・
景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物
があります。



室小路のさんさ踊り



自治会主催の敬老会



みんなで植樹した、桜並木



元気な子どもたち・みこし



室小路の夏祭り・なでしこ保育園友情参加

2

地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみinnで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

室小路地域の情報

	室小路地域		滝沢市		摘要	
	人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1 人口	2,624	4.7%	55,288		H30.12末	
2 世帯数	1,029	4.6%	22,372		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
高齢者世帯	145	14.1%	5,020	22.4%		
うち高齢者1人世帯	78	7.6%	2,483	11.1%		
3 産業別人口	1,204	4.4%	27,291		H27国勢調査	
1次産業	13	1.1%	1,399	5.1%		
2次産業	240	19.9%	6,100	22.4%		
3次産業	951	79.0%	19,792	72.5%		
4 年代別人口	2,624	4.8%	54,733		H30.12末 (全市から自衛隊等を除く)	
すこやか世代	0～5歳	188	7.2%	2,842		5.2%
学び・成長世代	6～17歳	438	16.7%	6,715		12.3%
自立世代	18～34歳	492	18.8%	9,235		16.9%
子育て世代	35～49歳	724	27.6%	11,610		21.2%
充実世代	50～64歳	435	16.6%	10,935		20.0%
円熟世代	65歳～	347	13.2%	13,332		24.4%

室小路地域公共施設情報 ※印のあるところは指定避難所です。

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
室小路公民館	室小路124-5	687-1075	なでしこ保育園 子育て支援センター	室小路251-2	699-3080
※鵜飼小学校	鵜飼同畑87-1	687-2004	※滝沢南中学校	鵜飼滝向11-1	687-2021

3

私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題(地域と行政の連携、行政の検討課題)

重要度

- ① 新公民館の建設が地域の課題です。
- ② ごみ集積所を全アパートに設置義務の条例制定が課題です。
- ③ 世帯数の増加に伴い適正なゴミ集積所の配置が必要です。
- ④ 未舗装道路の解消と家屋浸水防止の雨水側溝の設置が課題です。
- ⑤ 滝沢中央小学早期建設と安全な通学路確保が課題です。
- ⑥ 幅員のせまい地域のごみ集積所の設置が課題です。
- ⑦ 公園草取り等の環境整備が課題です。
- ⑧ 横断歩道をメイン道路、南、北の2ヶ所設置が課題です。
- ⑨ 事故防止の為にメイン道路ドウダンツツジ全撤去が課題です。

地域活動の課題(地域で取り組む課題)

重要度

- ① 市役所等の各委員を確保することが課題です。
- ② アパート等の班長さん意識の向上が課題です。
- ③ ごみ集積所を各アパートの管理者に設置していただくことが課題です。
- ④ 高齢者宅等の除雪ボランティア、見守り等が課題です。
- ⑤ 一斉清掃の参加者が少ないのが課題です。
- ⑥ 違法駐車解消、交通マナー向上、交通事故防止が課題です。
- ⑦ ゴミの出し方のマナー向上が課題です。
- ⑧ 犬の糞等、マナー向上が課題です。
- ⑨ 各区、組織の確率、企画立案機能強化が課題です。

4 幸せづくり計画

①地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

安全安心で快適な暮らしと、地域の川や緑を活かしたうおいある生活環境をつくろう

- ▶ 1. 自主防災会の活動を推進し、子ども・老人・弱者を含めた地区住民の安全対策活動を行います。
- ▶ 2. 避難場所として、室小路公民館の機能充実を図ります。
- ▶ 3. 暗い夜道を安全にするために防犯灯の増設を市に要望し、管理を行います。
- ▶ 4. スクールガードや防犯パトロール活動を行います。
- ▶ 5. 交通事故を防ぐため交通規制、除雪等を関係機関に要望します。
- ▶ 6. 諸葛川の自然に触れ合う事業を展開します。

基本方針 2

快適な環境のもと暮らすことができる地域をつくろう

- ▶ 1. 不足するごみ集積所について関係機関と協力し解消に取り組みます。
- ▶ 2. ごみ集積所の適正管理に努めるとともに、ごみ減量活動を行います。
- ▶ 3. 地域の環境を守るため、道路、公園等の清掃美化活動を展開します。
- ▶ 4. 飼主のペットマナーの向上に取り組みます。
- ▶ 5. 地域内の情報共有を図るため班長会議内容、市広報等各種お知らせの配布を行います。

基本方針 3

地域住民の交流を図りながら、活気のある地域をつくろう

- ▶ 1. 子ども会、中学校地区生徒会、老人クラブ室小路会と連携し、世代間交流活動を展開します。
- ▶ 2. 地域住民相互の親睦を深めるため、夏祭り、スポーツ行事等を実施します。
- ▶ 3. 子育て世代のネットワークづくりを支援します。
- ▶ 4. 地域内の協働で見守り体制を確立し、安心安全な地域をつくります。
- ▶ 5. 新室小路公民館建設に向けた建設計画の検討を行います。
- ▶ 6. 「室小路遺跡」など郷土の歴史を学ぶ機会を設けます。
- ▶ 7. 各種、講演会を開催します。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

▶ すこやか世代(0～5歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

親以外に(子どもの)世話をしてくれる人がいる

② 象徴指標

子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合

③ 活動モデル

子育て世代が気軽に集まれる機会を地域でつくる

④ どのように具体的に取り組むか

地域の子育て支援センターを利用する

⑤ 活動団体・組織

保育園、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 学び・成長世代(6～17歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

悩みを相談できる相手や機会がある

② 象徴指標

悩みを相談できる相手がいる割合

③ 活動モデル

親などが子どもの悩みを知る・学ぶ機会を地域で設ける

④ どのように具体的に取り組むか

一日の出来事を子どもと話す時間をつくる

⑤ 活動団体・組織

小中学校、地区PTA育成会、子ども会育成会、自治会 ほか



▶ 自立世代(18～34歳)

① 幸福感を育む象徴的要素

地域の方々と交流の機会がある

② 象徴指標

地域のお祭りや行事に参加した回数

③ 活動モデル

地域のお祭りやサークルなどに参加する

④ どのように具体的に取り組むか

夏祭りに参加してみる

⑤ 活動団体・組織・消防団

自治会 ほか



▶ 子育て世代(35~49歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
子どもたちの成長を確認できること
- ② 象徴指標
子どもとの会話の時間
- ③ 活動モデル
毎日、子どもと会話をする

- ④ どのように具体的に取り組むか
食事の間はテレビを消してみる
- ⑤ 活動団体・組織・消防団
自治会 ほか



▶ 充実世代(50~64歳)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
世代を超えて交流する機会がある
- ② 象徴指標
地域活動に参加する人の割合
- ③ 活動モデル
スクールガードに参加する

- ④ どのように具体的に取り組むか
笑顔でのあいさつを心掛ける
- ⑤ 活動団体・組織・消防団
自治会 ほか



▶ 円熟世代(65歳~)

- ① 幸福感を育む象徴的要素
いざという時にも、助け合える繋がりがある
- ② 象徴指標
いざという時に、頼れる相手がいる人の割合
- ③ 活動モデル
地域がひとり暮らしの世帯を把握している

- ④ どのように具体的に取り組むか
地域の行事に参加し交流を深める
- ⑤ 活動団体・組織
老人クラブ、自治会 ほか



地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	すこやか世代 (0～5歳)	学び成長世代 (6～17歳)	自立世代 (18～34歳)	子育て世代 (35～49歳)	充実世代 (50～64歳)	円熟世代 (65歳～)
幸福感を 育む 象徴的要素	親以外に(子ども の)世話をしてく れる人がいる	悩みを相談でき る相手や機会が ある	地域の皆さんと 交流の機会があ ること	子どもたちの成長 を確認できること	世代を超えて交流 する機会がある	いざという時に も、助け合える 繋がりがある
Point						↘
象徴指標	子どもを安心して 預けられる相手 がいる親の割 合	悩みを相談でき る相手がいる 割合	地域のお祭り や行事に参加 した回数	子どもとの会話 の時間	地域活動に参 加する人の割 合	いざという時 に、頼れる相 手がいる人の 割合
活動 モデル	子育て世代が気 軽に集まれる機 会を地域でつくる	親などが子ども の悩みを知る・学 ぶ機会を地域で設 ける	地域のお祭りや サークルなどに参 加する	毎日、子どもと会 話をする	スクールガードに 参加する	地域がひとり暮ら しの世帯を把握 している
Point						↘
どのように 具体的に 取り組むか	地域の子育て 支援センターを 利用する	一日の出来事 を子どもと話す 時間をつくる。	夏祭りに参加し てみる	食事の間はテレ ビを消してみる	笑顔でのあいさ つを心掛ける	地域の行事に 参加し交流を 深める
活動団体 組織	保育園 育成会 自治会 ほか	小中学校 地区PTA育成会 子ども会育成会 自治会 ほか	自治会 ほか	自治会 ほか	自治会 ほか	老人クラブ 消防団 自治会 ほか

5 私たちのあゆみ (活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

時期	主要な活動の記録
1971年（S46年）	・室小路自治会設立
1986年（S51年）	・室小路公民館建設（1世帯3万円の寄付で建設）
1992年（H4年）	・区画整理事業により人口が増え始まる
2005年（H17年）	・元村南自治会より分離独立し滝沢村自治会連合会へ「室小路自治会」として加盟
2010年（H22年）	・新設小学校室小路地区に建設発表平成28年開校
2011年（H23年）	・東日本大震災、室小路公民館に避難場所開設 ・新設小学校平成29年開校に変更
2013年（H25年）	・室小路自主防災会を設立
2014年（H26年）	・区制を導入。地域内を3区に定め活動の深化を図る ・元村地区連絡協議会、まちづくり委員会より分離独立
2015年（H27年）	・地域別計画、室小路地区幸せづくり活動プラン策定

2019年（H31年）	・滝沢中央小学校開校
-------------	------------

室小路地域づくり懇談会

室小路自治会役員・理事・班長合同会議メンバー